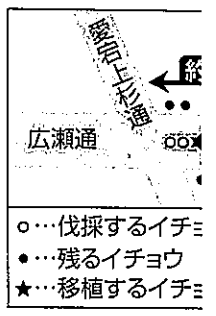


市は、JR仙台駅周辺の渋滞緩和を目的に、駅前通と愛宕上杉通に挟まれた広瀬通の片側3車線区間(約170m)の中央分離帯にあるイチョウ12本を伐採し、4車線化する計画を進めていた。だが、市民などから反対する声が上がったため、計画を延期。住民説



伐採予定のイチョウ並木明会を開くなどして、伐採について再検討してきた。9月には計画を修正。12本中1本は4車線化に影響がないとしてそのまま残り、別の1本は近くの歩道



県漁協は、雄勝湾(石巻市)を除く県内10海域で水揚げされたカキからノロウイルスが検出されたとして、生食用のむき身について25日まで、初めて県内全海域で出荷停止とした。一方、唯一ノロウイルスが検出されなかった雄勝湾では、今回の対象外となる生食用の「殻付きカキ」が引き続き出荷されている。

来年1月中旬までには10本の伐採を終える予定で、移植も2〜3月に完了する見通しという。
4車線化の工事は、2017年6月にも完了する予定だ。

殻付きカキ 安全PR 雄勝湾



ノロウイルスが検出されなかった雄勝湾近くで続けられている殻付きカキの出荷作業(21日、石巻市雄勝町で)



魚に顔を近づけて臭いを嗅ぎ、安全に食べられるように集まって食べて、ノロウイルスを食べている。

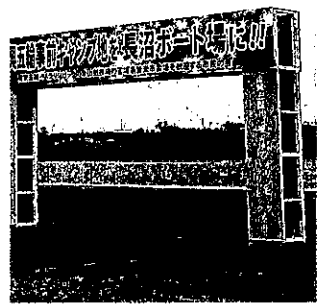
県漁協では週1回検査を実施し、19日の検査で10海域からノロウイルスが検出された。すでに水揚げされた分は加熱用として21日までに出荷されており、県漁協は「安全性に問題はな

い」としている。ノロウイルス未検出だった雄勝湾にあるカキ養殖・加工販売会社「海遊」の加工場では21日、生食用の殻付きカキ約1・5トを出荷した。むき身カキが出荷停止となったため注文が増えているといい、従業員15人が殻付きカキの洗浄、選別などの作業に追われた。

同社の平手秀雄総務は「社で独自に検査をするなど衛生対策を徹底している。出荷を続けて雄勝のカキをアピールしたい」と話した。

業前の3学期だけ新校舎の工事を急いで進めてきた。終業式で相沢日中(59)は「仮設校舎とよお別れです。お世話になった人に感謝を忘れず、お礼の言葉を申し上げます」と語りかけ、

登米アピール 今こそ



「事前キャンペーン」から「事前キャンペーン」(14日、登米市で)

いた。だが、期待を裏切られる形に終わったものの、悪いことばかりではなかったように思う。

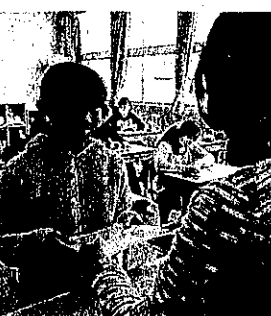
一連の報道で、登米市や長沼ポット場の名は全国に知れ渡った。記者は9月に赴任し、この取材で初めて

域資源を生かして誘客に結びつけてほしいと願う。何よりの、今回の会場見直しは、五輪招致の段階で声高にうたわれた「復興五輪」が、置き去りにされたという問題を提起した。復興は順調に進んでいる」と

東松島市立宮野森小学校で21日、仮設校舎で迎える最後の終業式が行われた。児童たちは感謝の気持ちを込めて合唱するなどし、思

このため、野蒜小出身の

仮設校舎で最後の終業式 東松島・宮野森小



仮設校舎で迎える最後の終業式で、笑顔で通知表を受け取る児童(21日、東松島市立宮野森小で)

間借りし、約1年後から仮設校舎で授業を始めた。宮戸小との統合後も仮設で勉強を続けてきた。

村田町の東北自動車

バス事故で略式... 21日、業務上過失傷害... 同様に同乗者で書類... 男性役員(52)、整備会... 社員2人と、自動車運... 為処罰法違反(過失運... 容疑で書類送検されて... の男性運転手(40)につ... 不起訴(起訴猶予)と... 地検によると、幹部社... (以下略)